

2025年度
2025 Academic Year

高知大学大学院 総合人間自然科学研究科
医科学専攻(修士課程)

学生募集要項

APPLICATION FOR ADMISSION TO THE MASTER'S COURSE IN STUDIES IN
MEDICAL SCIENCE GRADUATE SCHOOL OF INTEGRATED ARTS AND SCIENCES
KOCHI UNIVERSITY FOR APRIL 2025

(一般選抜・社会人特別選抜)

2024年10月29日改訂版

P5・6・7・10・11・12 3 出願資格についての注意及び4 出願手続について郵便料金の値
上げに伴い変更しました。(変更箇所は赤字表記)

P27 5 学位の授与について変更しました。(変更箇所は赤字表記)



高 知 大 学

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
[一般選抜・社会人特別選抜]	
1 募集するコース及び募集人員	4
2 出願資格	4
3 出願資格についての注意	5
4 出願手続	5
5 選抜方法	8
(English) [ADMISSION FOR FEE-PAYING FOREIGN STUDENTS]	
1 Admission Capacity	9
2 Application Eligibility	9
3 Notes	10
4 Application Procedures	10
5 Selection Procedure	13
[合格者発表・入学手続等]	
1 合格者発表	14
2 入学手続等	14
(English) [Notification of Results and Admission Procedures]	
1 Notification of Results	15
2 Admission Procedures	15
[その他]	
1 障害等のある者の出願	16
2 奨学金	18
3 その他	18
(English) [Other Notes]	
1 Reasonable Accommodations for Students with Disabilities	19
2 Scholarships	21
3 Other Notes	21
医科学専攻の研究内容の概要	22
カリキュラム	27
長期履修学生制度について	28
授業科目及び単位数	29
試験場案内 (Access to Oko Campus)	42

【別途ダウンロード書類】

- 入学願書・履歴事項
- 受験票・写真票
- 志望の動機
- 受験許可書
- 住所票
- 提出書類郵送あて名書き用紙
- 入学検定料払込用紙記入例

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

医科学専攻（修士課程）では、その目的に基づき、次のような学生を求めます。

医科学コース

【知識・理解】

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲、態度】

専門的な医科学の知識と経験を活かし、医療関連の研究教育施設、企業、病院などにおいて指導的な貢献を果たす意欲を有する。

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について、口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲、 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

公衆衛生学コース

【知識・理解】

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲、態度】

公衆衛生学の5基本領域である疫学、生物統計学、環境保健学、医療政策・医療管理学、行動科学の知識と技能を活かして、医療データ分析、地域医療、災害医療、国際保健を含めた公衆衛生の実務において指導的な貢献を果たす意欲を有する。

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について、口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲、 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

公衆衛生学コース（1年コース）

【知識・理解】

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲、態度】

- ・中央行政機関，地方自治体等において，環境に起因する疾病の対策に取り組みたいと思っている人
- ・膨大な医療情報から，データサイエンティストとしての専門知識を活かして診断，治療，予後に関する実務及び研究に取り組みたいと思っている人
- ・臨床試験と臨床研究を専門的視点で実施するために必要な知識と技能を身に付けたいと思っている人
- ・地域医療・地域保健の現場で，社会との関わりを重視して，疾病の予防，診断，治療に取り組みたいと思っている人
- ・産業医，産業歯科医，産業看護職，産業衛生技術者等の産業保健スタッフとして，職場の疾病予防対策に従事したいと思っている人
- ・環境に起因する疾病の予防，診断，治療に関わる研究に従事したいと思っている人
- ・国際機関において，環境に起因する疾病の対策に取り組みたいと思っている人
- ・疫学的手法や電子化保健・医療データの解析手法の知識・技術を活かして，環境，食品，製薬や臨床検査機器関連企業等で活躍したいと思っている人
- ・電子化保健・医療データの解析手法や医療情報システムの知識を活かして，医療管理の分野で実務家として活躍したいと思っている人
- ・疫学的手法や電子化保健・医療データの解析手法，医療情報システムの知識を活かして，医療系IT企業で活躍したいと思っている人

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について，口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲， 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

ヘルスケアイノベーションコース**【知識・理解】**

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について，学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに，医科学のトピックスの概要を理解し，自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲、態度】

- ・医学，工学の知識，技術を深め，地方都市が抱えるヘルスケアの課題解決に役立つ新たな知見，革新的技術の創出及び人材育成に取り組む意欲がある人
- ・情報技術，人工知能，システムデザイン工学，リスクマネジメントなどの知識をベースに，デジタルトランスフォーメーションにより病院の機能改善，経営戦略，医療安全などに貢献する意欲がある人
- ・医療機関あるいは産学官などの異分野，多組織間の縦割り構造を超え，円滑な連携のキーパーソンとして活躍する意欲がある人
- ・ヘルスケアに関連するイノベーションやベンチャーの立ち上げ，企業での活躍をめざし，知的財産，経営，法規，規制等の専門的な知識を身につけて活躍したい意欲がある人

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について，口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲, 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎は、当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。
（◎は必須・最重要点項目）なお，◎は配点の内訳とは直接関係はありません。

[一般選抜・社会人特別選抜]

1 募集するコース及び募集人員

コ ー ス	募集人員	備 考
医科学 公衆衛生学 公衆衛生学（1年コース） ヘルスケアイノベーション	15人	1. 社会人特別選抜の募集人員を含みます。 2. <u>本専攻の募集人員(15人)に満たない、あるいは総合人間自然科学研究科（修士課程）の募集人員に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。第2次・第3次募集実施の有無・変更は、高知大学ホームページにてお知らせしますので、必ず確認してください。</u>

2 出願資格

【医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコース】

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

ただし、外国人留学生については、外国の国籍を有する者で日本における在留資格が本学の入学に支障がない者としてします。

- (1) 大学を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（「大学院及び大学の専攻科の入学に関し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（昭和28年文部省告示第5号）」により指定された者）
【「独立行政法人水産大学校による水産大学校を卒業した者」、「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者」等】
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び2025年4月1日までに22歳に達する者

【公衆衛生学（1年コース）】

次の各号のいずれかに該当し、医師、歯科医師又は薬剤師として2年以上の実務経験（臨床研修期間を含む）を有する者としてします。

ただし、外国人留学生については、外国の国籍を有する者で日本における在留資格が本学の入学に支障がない者としてします。

- (1) 大学の医学部医学科，歯学部又は修業年限6年の薬学を履修する課程を卒業した者
- (2) 外国において，学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学）を修了した者

3 出願資格についての注意

(1) 出願資格の確認について

出願資格が(3)，(4)，(6)，(8)に該当する者は，事前に出願資格の確認を行いますので，出願前に医学部入試担当（メール：nys-web@kochi-u.ac.jp）へ，小学校から大学までの学校歴（入学・卒業年月）を送付してください。

(2) 個別の入学資格審査について（「出願資格(9)」の該当者）

「出願資格(9)」に該当する者は，事前に入学者資格審査を行いますので，あらかじめ志望する指導教員に照会のうえ，必要書類を，第1次募集については2024年6月21日(金)までに，第2次募集については2024年11月14日(木)までに，第3次募集については2025年1月20日(月)までに提出してください。

「出願資格(9)」の入学資格審査に必要な書類
(ア) 入学資格認定申請書（本専攻所定の用紙） (イ) 履歴事項（本専攻所定の用紙） (ウ) 最終出身学校卒業（修了）証明書 (エ) 最終学校の成績証明書 (オ) 研究歴証明書（本専攻所定の用紙） (カ) 研究業績調書（本専攻所定の用紙） (キ) 返信用封筒：表に住所・氏名を記入し，410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒 ※ 提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付すること。 ※ 証明書氏名に改姓等がある者は戸籍抄本等を添付すること。

「本専攻所定の用紙」は，高知大学受験生サイト（<https://nyusi.kochi-u.jp/>）からダウンロードできます。

(3) 社会人特別選抜について

総合人間自然科学研究科医科学専攻（修士課程）では，夜間その他特定の時期に授業・研究指導を行う教育方法の特例による「昼夜開講制」を導入し，この制度を基に，社会人の特別選抜を実施しています。

〔大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例を適用〕

社会人特別選抜に出願することができる者は，前記2 出願資格のいずれかに該当する者で，医療機関，教育・研究機関，企業などに勤務している者又は入学直後に勤務することが見込まれる者で，入学後もその身分を有し，所属長の受験許可を得ることが可能な者とします。

4 出願手続

(1) 出願期間

- 【第1次募集】 2024年7月22日(月)から7月24日(水)8時30分～17時《必着》
- 【第2次募集】 2024年12月16日(月)から12月18日(水)8時30分～17時《必着》
- 【第3次募集】 2025年2月17日(月)から2月19日(水)8時30分～17時《必着》

出願期間最終日の17時を必着としますので，郵送する場合は，郵便事情を十分考慮のうえ，余裕をもって発送してください。なお，出願期間前に到着したものは，受付初日に処理します。

(2) 出願方法

次の(3)に掲げる出願書類等を一括とりそろえ，角形2号の封筒に入れ，「提出書類郵送あて名書き用紙」に必要事項を記入のうえ，これを封筒に全面のり付けして，特定記録・速達郵便で所定の期間内に提出してください。なお，本人が持参する場合も，必ず上記のように封筒を作成してください。

出願書類の様式・提出書類郵送あて名書き用紙は受験生サイト（<https://nyusi.kochi-u.jp/daigakuin/admissions>）からダウンロードできます。

＜出願書類提出先＞ 〒783-8505 なんこくし おこうちようこはす 南国市岡豊町小蓮
高知大学医学部入試担当（電話 088-880-2295）

出願に際しては、あらかじめ志望するコースの研究指導教員に照会のうえ、出願してください。

(3) 出願書類等

医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコースに出願する場合：①～⑨

公衆衛生学コース（1年コース）に出願する場合：①～⑪

英語資格・検定試験の公式認定証等を提出する場合は、上記に加え⑫

①	入学願書、履歴事項	受験生サイトよりダウンロードして作成。 在職中に一般選抜で出願する者は、履歴事項に退職予定日を記入すること。
②	受験票、写真票	受験生サイトよりダウンロードして作成。 写真票には出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm, 正面, 上半身, 無帽)を貼付すること。
③	成績証明書	最終出身学校の学長(学部長)が作成し、厳封したもの。 出願資格(9)の該当者は提出不要。 また、証明書氏名に改姓等がある者は戸籍抄本等を添付すること。
④	最終出身学校卒業(修了)(見込)証明書	出願資格(2), (9)の該当者は提出不要。 また、証明書氏名に改姓等がある者は戸籍抄本等を添付すること。
⑤	志望の動機	受験生サイトよりダウンロードして作成。
⑥	受験許可書	受験生サイトよりダウンロードして作成。(社会人特別選抜出願者のみ提出)
⑦	入学検定料30,000円 (振替払込請求書兼受領証のコピー)	郵便局・ゆうちょ銀行で郵便局指定の用紙を使用し、以下の口座に払い込んでください。 「振替払込請求書兼受領証」(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)のコピーを提出すること。 (納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。) 受取人口座名義：高知大学 指定金融機関：ゆうちょ銀行 振替口座 口座記号番号 01610-5-129391 ※通信欄に出願専攻名と出願者氏名を記入してください。 ※振り込みに要する手数料は、志願者のご負担となります。 ※振替払込請求書兼受領証の原本は本人控えとして保管ください。
⑧	住所票	受験生サイトよりダウンロードして作成。 本学からの通知が確実に届く本人のあて先を記入すること。
⑨	受験票送付用封筒	表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒を同封すること。(出願受付後、受験票の送付に使用します。)
⑩	医師免許証、歯科医師免許証又は薬剤師免許証のコピー	白黒可。A4サイズに縮小可。ただし、登録番号や氏名等が明確に確認できること。一部分のみや分割コピーは不可。
⑪	在職期間証明書	在職時の職名、勤務期間を証明できる書類。(任意様式) ※2年以上の実務経験(臨床研修期間含む)を確認するため。 勤務先が複数ある場合は2年以上を満たす直近のものでかまいません。
⑫	英語資格・検定試験の公式認定証等 ※「(4)出願書類提出上の注意⑦英語資格・検定試験の公式認定証等について」を確認のこと。	次のいずれかを提出すること。 ●TOEIC Listening & Reading 公開テスト「デジタル公式認定証」(Digital Official Score Certificate)の写し ●TOEIC Listening & Reading 公開テスト「公式認定証」(Official Score Certificate) ●TOEFL iBTテスト「公式スコアレポート」(Official Score Report) ●IELTS™「成績証明書」(Test Report Form) <u>提出できない者は、学力試験(英語(TOEIC Listening & Reading IPテスト))を必ず受験すること。</u>

＜その他の必要書類＞

1. 日本に在住する外国人にあつては、市町村長の発行する住民票の写し（国籍、在留資格、期間が記載されたもの）を上記書類に加え提出すること。
2. 出願資格(2)による学士の学位を授与された者は、「学位記」の写し又は学位授与証明書を提出すること。なお、見込みの者は当該「修了見込み証明書」及び「学士の学位授与申請(予定)証明書」（様式随意）を提出すること。

(4) 出願書類提出上の注意

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、出願書類を受け付けません。
- ② 出願書類の受付後は、書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
- ③ **提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。**
- ④ 入学後においても、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消します。
- ⑤ 出願書類の受付後は、検定料及び出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑥ 外国人留学生については、**出願書類提出前に**医学部入試担当に問い合わせてください。
- ⑦ 英語資格・検定試験の公式認定証等について

●TOEIC Listening & Reading 公開テスト「デジタル公式認定証」 (Digital Official Score Certificate) の写し

- ・有効な受験期間は2023年4月以降のもの。
- ・IIBC (TOEIC事務局) から発行された「TOEICデジタル公式認定証」を印刷したものを提出すること。

●TOEIC Listening & Reading 公開テスト「公式認定証」 (Official Score Certificate)

- ・有効な受験期間は2023年4月以降のもの。
- ・出願時に公式認定証の原本を提出すること（コピーやWeb上からのダウンロードされた成績証明書は不可）。ただし、原本の返却が必要な場合は、返送用の封筒（角型2号）に180円分の切手を貼り、願書と一緒に提出すること。
- ・認められないテスト種別

TOEIC Listening & Reading 団体特別受験制度 (IP: Institutional Program, 以下IPテスト),
TOEIC Listening & Reading IPテスト (オンライン), TOEIC Speaking & Writing Tests,
TOEIC Speaking Test, TOEIC Writing Test, TOEIC Bridge Tests

なお、出願期間最終日までに、スコア証明書（原本）が 高知大学に届かない場合は、学力試験（英語（TOEIC Listening & Reading IPテスト）を必ず受験すること。

●TOEFL iBTテスト「公式スコアレポート」 (Official Score Report)

- ・2023年4月以降に受験した TOEFL iBT テストの「公式スコアレポート」 (Official Score Report) が、出願期間最終日までに ETS (Educational Testing Service) から直接高知大学入試課に届くように事前に手続をすること。（手続から本学に届くまで2か月以上掛かる場合があるので、早めに手続を進めてください。）
- ・高知大学入試課 (Kochi University-Admission Division) の登録コード (DI Code) は2598です。学部別のコードはありません。

なお、出願期間最終日までに、「公式スコアレポート」 (Official Score Report) が ETS から直接高知大学に届かない場合は、学力試験（英語（TOEIC Listening & Reading IPテスト）を必ず受験すること。

●IELTS™「成績証明書」 (Test Report Form)

- ・2023年4月以降に受験した IELTS™の「成績証明書」 (Test Report Form) が、出願期間最終日までに実施機関から直接高知大学入試課に届くように事前に手続をすること。但し、Academic Module に 限ります。

なお、出願期間最終日までに、「成績証明書」 (Test Report Form) が 高知大学に届かない場合は、学力試験（英語（TOEIC Listening & Reading IPテスト））を必ず受験すること。

5 選抜方法

入学者の選抜は、英語、面接、志望の動機及び成績証明書を総合評価し、合格者を決定します。

(1) 学力試験等

期 日	試 験 科 目	時 間
【第1次募集】2024年8月16日(金) 【第2次募集】2025年1月26日(日) 【第3次募集】2025年3月11日(火)	英 語 TOEIC Listening & Reading IPテストを実施します (TOEIC Listening & Reading公開テスト等の公式認定証等を提出していない者)。	9 : 30～12 : 00
	面 接 (注)	

(注) 別日程で実施する場合があります。

(2) 受験上の注意事項

- ① TOEIC Listening & Reading Testについては、<https://www.iibc-global.org/toeic.html> を参照ください。
- ② 英語の試験室、面接の開始時刻・場所については、受験票発送時にお知らせします。
- ③ 試験場への道順、交通機関等については、「試験場案内」等で確認してください。
- ④ 各試験が終了するまでは退室できません。
- ⑤ 試験科目を全て受験しないと合格者となりません。
- ⑥ 試験説明開始から20分経過後の入室・受験は認められません。
- ⑦ 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。
- ⑧ 試験室内での携帯電話、電子機器類の使用は禁止します。それらの機器を試験室に持ち込む場合は、あらかじめ電源を切っておいてください。
- ⑨ 監督者等の指示に従わないとき、又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。
- ⑩ 机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル（黒）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）のみです。その他のものは指定の場所に置いてください。
- ⑪ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。

(3) 試験場

高知大学医学部 なんこくし おこうちょうこはす (南国市岡豊町小蓮)

ADMISSION FOR FEE-PAYING FOREIGN STUDENTS

1. Admission Capacity

Course	Capacity
Medical Science Course Public Health Course Public Health Course (One Year Course) Healthcare Innovation Course	15

2. Application Eligibility

【Medical Science Course ・ Public Health Course】

Applicants must fulfil one of the following criteria.

- (1) Has graduated from a university or expects to graduate by March 2025.
- (2) Has received a bachelor's degree from the National Institute for Academic Degree and Quality Enhancement of Higher Education according to Article 104-4 of the School Education Law, or expects to complete the degree by March 2025.
- (3) Has completed, or expects to complete by March 2025, 16 years of education abroad.
- (4) Has completed, or expects to complete by March 2025, 16 years of correspondence education given by an institution abroad while residing in Japan.
- (5) Has completed, or expects to complete by March 2025, a course of study at a foreign educational institution in Japan which is equivalent to 16 years school education abroad, conforms to the educational system of the relevant country, and is accredited by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- (6) Has completed or expects to complete a course of study of no less than 3 years at an approved foreign university or school – including distance education undertaken while residing in Japan and study at a foreign institution in Japan that is accredited as in criteria (5) – and has received or expects to receive a bachelor's degree or equivalent by March 2025. Approved foreign educational institutions are limited to those whose education and research programs have received a comprehensive evaluation from an entity certified by the relevant foreign government or governmental organization or from a body designated as equivalent by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- (7) Is completed on or after the day prescribed by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or expects to complete by March 2025, a specialized course of study at an advanced vocational school designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (limited to those that meet the criteria prescribed by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, including that the minimum duration of studies be at least four years).
- (8) Is designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. (Is designated by “Those who are recognized as having at least the same academic ability as those who graduated from university upon admission to graduate school and university majors”; The Ministry of Education, Science, Sports and Culture Public Notice No. 5 of 1953).
- (9) Is over 22 years old or shall be 22 years old by 1 April 2025 and has an academic ability equivalent to or higher than that of a graduate from a university as determined in an academic review by the Graduate School of Integrated Arts and Sciences.

【Public Health Course (One Year Course)】

Applicants must fulfill one of the following criteria, and must have more than two years of working experience as doctor, dentist or pharmacist, including clinical residency.

- (1) Has graduated from a faculty of medicine, dentistry or pharmacy (6-year course).
- (2) Has completed, 18 years of education abroad. (The last course of study undertaken must be in medicine, dentistry or pharmacy).

3. Notes

- (1) Those who wish to apply for admission under (3), (4), (6) or (8) above must obtain details of the procedure from the following office:

Kochi Medical School Admission Office
Kohasu, Oko-cho, Nankoku-shi 783-8505
Email: nys-web@kochi-u.ac.jp

- (2) The Faculty Committee reviews the qualifications of those who wish to apply for admission under (9) above. The applicant should contact a professor of the desired department and then submit the documents listed below by 21 June 2024 (for first-entry admission), by 14 November 2024 (for second-entry admission) or by 20 January 2025 (for third-entry admission).

Documents required for Confirmation of Qualification 2(9)
a) Application for confirmation of admission eligibility (use the prescribed form). b) Curriculum vitae (use the prescribed form). c) Official certificate of final graduation issued by the university or other educational institution attended. d) Certified academic record from the university or other educational institutions attended. e) List of research conducted by the applicant (use the prescribed form). f) List of articles written by the applicant (use the prescribed form). g) Stamped (¥410)* self-addressed envelope (23.5cm×12cm) . (※Charges may be revised). * Documents written in neither English nor Japanese must have Japanese translation attached.

<https://nyusi.kochi-u.jp/>

4. Application Procedures

(1) Application Filing Period

* For 1st entry admission.

The completed application forms must be presented to the Medical School Admission Office between 8:30 and 17:00, from 22 July 2024 to 24 July 2024.

If mailed, the application forms must reach the office by 17:00, 24 July 2024.

* For 2nd entry admission.

The completed application forms must be presented to the Medical School Admission Office between 8:30 and 17:00, from 16 December 2024 to 18 December 2024.

If mailed, the application forms must reach the office by 17:00, 18 December 2024.

* For 3rd entry admission.

The completed application forms must be presented to the Medical School Admission Office between 8:30 and 17:00, from 17 February 2025 to 19 February 2025.

If mailed, the application forms must reach the office by 17:00, 19 February 2025.

(2) Kochi Medical School Admission Office address

Kochi Medical School Admission Office
Kohasu, Oko-cho, Nankoku-shi 783-8505
(Write “Application Forms” in red on the envelope.)

Applicants must contact their prospective academic adviser before applying.

(3) Application Documents

Medical Science Course • Public Health Course • Healthcare Innovation Course : 1~8

Public Health Course (One Year Course) : 1~10

Accreditation Certificate of Public Test, such as TOEIC Listening & Reading: 11

1	Application Form Curriculum Vitae	Use the prescribed form.
2	Entrance Examination Ticket Photograph Card	Please don't separate the cards. On the Photograph Card, paste a photograph of your upper body and face, facing forward, and no hats, taken within the past third months (4 cm height and 3 cm width)
3	Academic Record	The applicant should provide in a sealed envelope his/her academic record issued by the president of the applicant's university or other educational institution (or dean of a graduate school). Those applying for admission under application eligibility (9) are not required to submit this certificate.
4	Certificate of (expected) completion from the school last attended	Those applying for admission under application eligibility (2) and (9) are not required to submit this certificate.
5	Objectives and ambitions	Use the prescribed form.
6	Entrance Examination Fee (¥30,000) (Photocopy of the post office payment form and receipt "振替払込請求書兼受領証")	Pay via the post office (JP) using the attached post office payment form to the below bank account. After payment, the post office issues a receipt with official stamp. Submit photocopy of that receipt. (The entrance examination fee will not be reimbursed, whatever the reason.) Account Name: 高知大学 (Kochi University) Designated Bank: ゆうちょ銀行 (JP Bank) Bank Account Number: 01610-5-129391 *Please put your name and the program you apply for in the column "通信欄". *It is the applicant's responsibility to bear charge related to transfer. *Please keep the original copy of payment form and receipt "振替払込請求書兼受領証"
7	Address Card	Use the prescribed form.
8	A stamped, self-addressed envelope	Write your name, contact address and postal code on the front side of a self-addressed no.3 rectangular envelope (23.5cm x 12cm) with 410 yen in postage attached. (※Charges may be revised).
9	Copy of either Doctor's, Dentist's or Pharmacist's License	Monochrome copy is fine. You can resize it to A4 print. The copy must clearly show license number, your name and other necessary information. It is NOT acceptable to submit partial copy or separate copies.
10	Certificate of Period of Employment	Submit a document certifying job title and period of employment in any format. This is to confirm more than two years of working experience, including clinical training. If you work in multiple workplaces, you can choose the most recent one that you have worked for more than two years.

11	<p>Official score certificate of English proficiency test</p> <p>※See (4) Notes on Application ⑦ official score certificates of English proficiency test.</p>	<p>Please submit any of the following documents.</p> <p>Digital Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading, Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading, Official Score Report of TOEFL iBT, Test Report Form of IELTS™.</p> <p><u>If you cannot submit any of the above, you will be required to take English language proficiency test (TOEIC Listening & Reading IP test).</u></p>
<p>1. International students who are residing in Japan must also submit a photocopy of a Certificate of Residence issued by local authorities, documenting their nationality, status of residence, and period of stay.</p> <p>2. Those who have conferred bachelor degree under application eligibility (2) are required to submit a copy of diploma or a certificate of degree conferral. Those who are expected to receive the degree are required to submit a certificate of expected completion and a certificate which proves you applied or intend to apply for bachelor degree conferral (style is optional).</p>		

(4) Notes on Application

- ① The documents for application should be completed in full. Incomplete applications will not be accepted.
- ② The documents submitted for application will not be returned to the applicant and must not be modified or corrected in any way.
- ③ Any document written in a language other than Japanese or English is required to have an accompanying Japanese or English translation.
- ④ Should the information provided in the application documents being factually incorrect or should other improprieties be discovered in the documents submitted, the applicant will be deemed ineligible for the entrance examination and enrollment.
- ⑤ The application fee is not refundable under any circumstances.
- ⑥ Foreign students must contact the Medical School Admission Office before submitting the documents.
- ⑦ Official score certificate of English proficiency test.

<ul style="list-style-type: none"> ● Digital Official Score Certificates of TOEIC Listening & Reading <ul style="list-style-type: none"> • Date of exam must be after April 2023. • Submit the printed copy of the Digital Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading issued by IIBC (TOEIC Secretariat). ● Original Copy of Accreditation Certificate of TOEIC Listening & Reading <ul style="list-style-type: none"> • Date of exam must be after April 2023. • Submit the original copy when applying for entrance exam (the photocopy or electronic copy is not valid). If you need to have the original copy returned later, please submit an envelope (240 mm x 332 mm size) to return with putting post stamp (JPY 180) when submitting all the application documents. <p>The following tests are not regarded as valid test type in terms of accreditation of TOEIC Listening & Reading. TOEIC Listening & Reading IP Test / TOEIC Listening & Reading IP Test (online) / TOEIC Speaking & Writing Tests / TOEIC Speaking Test / TOEIC Writing Test / TOEIC Bridge Tests</p> <p>If you cannot submit the original copy of score report or certificate to Kochi University admission office, please make sure to take TOEIC Listening & Reading IP Test.</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● Official Score Report of TOEFL iBT <ul style="list-style-type: none"> • Please make sure to complete administrative process to request Educational Testing Service (hereinafter referred to as “ETS”) issue and send Official Score Report for the test you took after April 2023 directly to Kochi University-Admission Division beforehand, so that you can submit Official Score Report by the last day of application period (as it may take longer than 2 months for ETS to issue and send Official Score Report to Kochi University, please start the application as soon as possible). • Registration number (DI Code) of Kochi University-Admission Division is “2598”. All the faculties use the same code. If Official Report Form do not arrive Kochi University from ETS by the last day of application period, please make sure to take TOEIC Listening & Reading IP Test.

● Test Report Form of IELTS™

- Please make sure to complete administrative process to request test conducting organization to issue and send Test Report Form for the test you took after April 2023 directly to Kochi University-Admission Division, so that you can submit Test Report Form by the last day of application period. Only “Academic Module” is valid for accreditation. If Test Report Form do not arrive Kochi University from the organization by the last day of application period, please make sure to take TOEIC Listening & Reading Test.

5. Selection procedure

Evaluation of the applicant will be based on his/her entrance examination and academic record.

(1) Entrance examination

Date	Examination	Time
First-entry admission: 16 August 2024 Second-entry admission: 26 January 2025 Third-entry admission: 11 March 2025	English TOEIC Listening & Reading IP Test (Those who have NOT submitted required type of English Language Certificate or score report of English proficiency test, including TOEIC Listening & Reading test.)	9:30 – 12:00
	Oral examination (※)	

(※) It is possible that we change the date of exam.

(2) Notes on the Examination

- ① For further information about TOEIC Listening & Reading Test, please refer to the website (<https://www.iibc-global.org/toeic.html>).
- ② Applicants will be notified of the examination room and time when they receive their examination ticket.
- ③ See “Access to Oko Campus” for the location of the examination center and the available public transportation.
- ④ Examinees are not permitted to leave the examination room while the examination is in progress.
- ⑤ All sections of the examination must be taken in order to pass.
- ⑥ Applicants are not permitted to enter the examination room later than 20 minutes after the explanation for the examination has started.
- ⑦ Applicants must have their Entrance Examination Tickets with them on the day of the examination.
- ⑧ Cell phones and other electric devices must be switched off during the examination.
- ⑨ You will be disqualified, if you do not follow instructions by proctors, cheat or try to cheat on the exam.
If you cheat on the exam, we may report to police as victim.
- ⑩ The following items are permitted on the desk: black pencils, automatic pencils (black), erasers, a pencil sharpener, a simple watch, All the other items must be left at the designated area.
- ⑪ Supplementary examinations will not be held.

(3) Examination Center

Kochi Medical School (Kohasu, Oko-cho, Nankoku-shi)

[合格者発表・入学手続等]

1 合格者発表

- (1) 第1次募集については2024年9月5日(木)、第2次募集については2025年2月12日(水)、第3次募集については2025年3月23日(日)に、合格者本人あて(住所票に記載された場所)に合格通知書を特定封筒郵便(レターパックライト)で送付します。
- (2) ホームページ上でも合格者発表を行います。情報提供サービスの一環として行うものです。必ず合格通知書をもって確認してください。
高知大学受験生サイト <https://nyusi.kochi-u.jp/>
- (3) 電話等による問い合わせには一切応じません。

2 入学手続等

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。
なお、入学手続についての詳細は、合格通知書と同時に送付します。

(1) 手続期間

- 【第1次募集】 2024年9月10日(火)から9月12日(木)
- 【第2次募集】 2025年2月17日(月)から2月19日(水)
- 【第3次募集】 2025年3月24日(月)から3月26日(水)

手続場所は医学部入試担当(講義棟1階)です。

持参の場合の受付時間は、8:30~17:00(土日は除く)。

(2) 入学手続書類

- ① 宣誓書(本専攻所定の様式)
- ② 学資負担者届(本専攻所定の様式)
- ③ 住民票記載事項証明書(本専攻所定の様式)
- ④ 身上調書(本専攻所定の様式、縦4cm×横3cmの写真を貼付)
- ⑤ 学生証交付願(本専攻所定の様式、縦4cm×横3cmの写真を貼付)
- ⑥ 最終出身学校の卒業(修了)証明書及び成績証明書(高知大学卒業生は不要)又は在学期間証明書(既に提出の場合は不要)
- ⑦-1 安全保障輸出管理に関する誓約書(本専攻所定の様式)
- ⑦-2 外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書(本専攻所定の様式)

(3) 入学料及び授業料(国費外国人留学生を除きます。)

入学料 282,000円

○ 注意事項

- 1) 入学料は、入学手続時に納入してください。
なお、授業料は、第1学期分は5月中、第2学期分は11月中に本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。(第1学期分267,900円(年額535,800円))
- 2) **入学料の免除又は徴収猶予**を希望する者は、入学手続に先立って申し出てください。
なお、授業料についても免除制度及び徴収猶予制度があります。
入学料・授業料の納入後は、免除等申請ができません。
(問い合わせ先 = 高知大学医学部・病院事務部学生課学生支援係 電話 088-880-2268)
- 3) 納入した入学料は、入学手続完了後においてもいかなる理由があっても返還しません。
- 4) 入学料免除及び徴収猶予の申請者が、本学の入学手続きを完了した後に入学を辞退する場合は、ただちに入学料を納入していただくことになります。
- 5) 入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

Notification of Results and Admission Procedures

1. Notification of Results

- (1) The Notification of Results will be sent to successful candidates on September 5, 2024 (for 1st entry admission in April 2025), on February 12, 2025 (for 2nd entry admission in April 2025) or on March 23, 2025 (for 3rd entry admission in April 2025). In addition, all successful candidates will be notified by mail.
- (2) The list of successful candidates will be posted Kochi University website (<https://nyusi.kochi-u.jp/>).
Although the list of successful candidates will be posted on the Kochi University website as part of our information service, the official notification of results will be posted by mail.
- (3) No inquiries will be accepted by telephone or other means.

2. Admission Procedures

The documents required for admission will be sent to the successful candidates.

(1) Period of entrance registration

1st entry admission: From 10 September 2024 to 12 September 2024

2nd entry admission: From 17 February 2025 to 19 February 2025

3rd entry admission: From 24 March 2025 to 26 March 2025

Place of entrance registration: Kochi Medical School Admission Office

If you wish to submit the documents in-person, please be noted that the business hours set between 8:30 am and 5:00 pm, except for weekend and national holidays.

(2) Documents Required

- ① Written Pledge (use the prescribed form*).
- ② Letter of Guarantee (use the prescribed form*).
- ③ Certificate of Residence.
- ④ Curriculum Vitae (use the prescribed form*; paste a 4×3cm photograph).
- ⑤ Application form for a student identification card (use the prescribed form*; paste a 4×3cm photograph).
- ⑥ Certificate of (expected) completion and Academic Record from the school last attended if it has not yet been submitted.
- ⑦-1 Pledge for Security Export Control (use the prescribed form)
- ⑦-2 Confirmation Letter regarding the Applicability of the Specific Categories for Compliance with Article 25 (1) and (2) of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (use the prescribed form) (only for those who have become a resident from a non-resident after 6 months have passed since entering Japan)

(3) Payment of entrance fee and tuition fee

Entrance fee: ¥282,000

1) The entrance fee should be paid at entrance registration.

The tuition fee should be paid by the end of May (for the first semester) or by the end of November (for the second semester). The tuition fee is charged directly to the student's post office account or bank account in one of the banks designated by Kochi University. (first semester ¥267,900 (¥535,800 for one year))

- 2) Those who wish to apply for exemption/deferment of the entrance and/or tuition fee must apply to the Student Support Group, Student Affairs Section, Medical School and Hospital Administration Department (Phone +81 - 88 - 880 - 2268) before paying the fees at entrance registration. Applications for exemption will not be accepted after payment of the entrance or tuition fee.
- 3) The entrance fee paid to the university is not refundable.
- 4) If an applicant for exemption/deferment of the entrance fee declines admission after being accepted, he/she must pay the entrance fee immediately.
- 5) If there is a change in the amount of the tuition fee during your course of study, you will be expected to pay the new fee.

[そ の 他]

1 障害等のある者の出願

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。なお、相談内容によっては、対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障害の種類や修学環境等によって異なってきますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。

本学では、障害学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてもご相談いただくことを推奨しています。

(1) 事前相談の時期

【第1次募集】 2024年6月21日(金)まで

【第2次募集】 2024年11月15日(金)まで

【第3次募集】 2025年1月16日(木)まで

※上記期限以降に理由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

(2) 事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の①～⑥に従って進めます。

※日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上、事前相談してください。

①電話もしくはメールによる相談

具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については(3) ①の連絡先で、修学上の支援については(3) ②に記載のインクルージョン支援推進室で、随時、電話・メール等による相談を受け付けています。

②「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類の確認

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、①による相談の際に、本学で対応可能な措置や申請にあたり必要となる本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」や「状況に応じて必要となる証明書(身体障害者手帳の写し、医師の診断書(発行後3か月以内のもの)」の提出について、お知らせします。

③「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の提出

「相談の期限」((1) 事前相談の時期 参照) までのできるだけ早い時期に、本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」に必要事項を記入のうえ、証明書等を添えて (3) ①の連絡先まで提出してください。

※「本学所定の様式」等は、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyo>)より、ダウンロードしてください。

(重複した障害や様式に明確にあてはまらない障害のある方は、障害等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。)

④「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答

「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までには配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までには回答できない場合や、必ずしも希望内容の

全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

⑤必要に応じて個別面談

必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等と直接面談を行います。

⑥その他

「相談の期限」((1) 事前相談の時期 参照) 以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも(3)①の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、(3)②に記載のインクルージョン支援推進室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早く連絡することを推奨します。

(3) 連絡先

①高知大学医学部・病院事務部学生課入試室

〒783-8505 南国市岡豊町小蓮

TEL 088-880-2295 FAX 088-880-2296

②インクルージョン支援推進室に関する情報ならびに本学の障害者支援について

高知大学学び創造センター学生支援部門 インクルージョン支援推進室

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

TEL: 088-888-8037

E-mail: shugakushien@kochi-u.ac.jp

URL: https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(参考)

※ 受験上の配慮の例

- ・自家用車での入構, 駐車場の使用
- ・別室受験
- ・試験室をトイレ又は障害者用トイレの近くに設定
- ・座席を最前列, 最後列, 出入口付近に設定
- ・介助者の試験室付近までの同伴, 介助者控室の準備
- ・試験時間の延長
- ・車椅子, 松葉杖の使用
- ・車椅子用機の準備
- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の文書による伝達
- ・拡大鏡の使用
- ・問題冊子, 解答用紙の拡大

※ 修学上の支援の例(全ての支援を確約するものではありません)

(これまでに高知大学として行った支援の例)

- ・欠席時の代替課題
 - ・授業内支援(ICレコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可)
 - ・教室環境(換気, 教室変更)
 - ・移動支援(別移動手段)
 - ・試験の別室受験・支援機器利用許可
 - ・スケジュール管理サポート
 - ・段差にスロープ設置
 - ・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保
- (想定される支援の例)

- ・書類提出における介助者代筆許可
- ・聴覚障害等のある学生へのノートテイクなどの情報保障
- ・視覚障害のある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
- ・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
- ・教育実習、病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
- ・授業、講習、行事等での休憩の許可、休憩時間の延長許可

2 奨学金（外国人留学生を除きます。）

日本学生支援機構奨学生として選考のうえ、「大学院第一種奨学金」、大学院修士課程段階における「授業料後払い制度」、「大学院第二種奨学金」として貸与される奨学金があります。

<問い合わせ先> 高知大学医学部・病院事務部学生課学生支援係（電話 088-880-2268）

3 その他

(1) 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学手続、入学者選抜・修学等に係る調査・研究等及び修学に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、又は提供することはありません。

(2) 募集要項に関して不明な点は、医学部入試担当に照会してください。

<問い合わせ先> 〒783-8505 なんこくし おこうちようこはす
 南国市岡豊町小蓮
 高知大学医学部入試担当（電話 088-880-2295）

高知大学受験生サイト

<https://nyusi.kochi-u.jp/>

Other Notes

1. Reasonable Accommodations for Students with Disabilities

Applicants with disabilities who need reasonable accommodation for entrance exams as well as for the future education in Kochi University can request reasonable accommodation before application by the following steps. Since some testing accommodation requests will take time to be prepared, it is recommended that applicants with disabilities who request testing accommodation for entrance exam to contact us as early as possible.

Reasonable accommodation for applicants and students with disabilities depends on their disability conditions and the essential requirements of the curriculum. Therefore, prior understanding the disability conditions of applicants and students, as well as their requisite accommodation, helps to appropriately provide testing accommodation and reasonable accommodation after entering university. Kochi University recommends applicants with disabilities to consult with us as early as possible, even before the admission deadlines, because adequate preparation time will allow for appropriate and efficient accommodation for testing and educational settings.

(1) The period for prior consultation

1st entry Admission in April, 2025: June 21, 2024.

2nd entry Admission in April, 2025: November 15, 2024.

3rd entry Admission in April, 2025: January 16, 2025.

When unavoidable circumstances happen before and after taking entrance exams, please feel free to consult with us even after the deadline.

(2) Flow of prior consultation

Prior consultation for testing accommodation for entrance exams and reasonable accommodation for future education in Kochi University will generally follow the steps from (1) to (6):

※ Applicants who use some assistive equipment for disabilities (e.g., hearing aid, cochlear implant, prosthetics, a walking stick, wheelchair) should consult with us. If there is no consultation, you may not be allowed to bring such equipment to entrance exams.

① Please contact with us by phone or e-mail

Students with disabilities can consult with us anytime by phone, email, etc. even if they have not decided to take entrance exams. Please contact the relevant program (3)① for testing accommodation and (3)② for general information about reasonable accommodation.

② Please prepare the “Application for Testing Accommodation and Reasonable Accommodation for Disabilities” documents, and documents to prove your eligibility

Applicants with disabilities will be informed about documents required for applying for testing accommodations on entrance exams and reasonable accommodation for future education in Kochi University when you first contact us.

Documents required for applicants with disabilities are:

1) Application for Testing Accommodation and Reasonable Accommodation for Disabilities (There is designated format)

2) Medical certificate from the doctor or disability certificate[※] or the copy of Japanese Physical Disability Certificate (*Shintai Shogaisha Techo*) or the copy of Japanese Mental Disability Certificate (*Seishin Shogaisha Hoken Fukushi Techo*)

3) Other than the above, applicants with disabilities can submit documents which describe their disability condition in detail (e.g., opinions from parents and high school teachers).

※ Please submit a medical certificate from the doctor which is issued within three months, as a general rule.

③ Submit the Application for Testing Accommodation and Reasonable Accommodation for Disabilities

Please see the contact information below (i.e., (3)①) and submit the documents 1), 2), as 3) if applicable, as early as possible before the deadline (see “The period for prior consultation” on p. 15).

Download the form from the website: (<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyo>).

④ Letter about decision on requested testing accommodation and results of simulation on prospective reasonable accommodations in educational settings in Kochi University

Kochi University starts to consider and discuss appropriate accommodations after submission of request forms and documents. We will send an official letter about the decision on requested testing accommodation and results of simulation on prospective reasonable accommodations in educational settings in Kochi University by the admission deadlines. Therefore, applicants with disabilities can use our letter for admission. However, please understand that the requested accommodation which constitutes a fundamental alteration or undue hardship may not be accommodated.

⑤ There may be an interview if needed

To provide appropriate accommodation, detailed information about applicants’ disability condition may be required. Therefore, we may conduct interviews with applicants and parents, if necessary.

⑥ Others

When unavoidable circumstances happen after the period of prior consultation (see p. 15), please feel free to consult with the Admission Office (i.e., (3) ①) even after the admission deadline. After taking entrance exams, if you have any consideration about reasonable accommodation, please contact with the Office for the promotion of inclusion and accessibility, Center for General Student Support (i.e., (3) ②)

(3) Contact Information

① Kochi Medical School Admission Office

Kohasu Oko-cho Nankoku-shi 783-8505

② Reasonable Accommodation for Students with Disabilities

Disability Support Office, Center for Creative Learning Development

5-1, Akebono-cho, Kochi 780-8520

TEL: 088-888-8037

E-mail: shugakushien@kochi-u.ac.jp

URL: https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(References)

Examples of reasonable accommodation for entrance exams

- Permission for entry by a car and preparation for parking space
- Using another room
- Setting testing room near from multi-purpose bathroom
- Arrangement for preferred seating
- Permission for entry of disability assistant and preparation for waiting room for them
- Extended time accommodation
- Permission for bringing assistive equipment in test settings such as wheelchair, cane, hiring aid, magnifying Reading Glass, etc
- Preparation for adjustable or large desk
- Notification of important information by written documents
- Preparation for test with bigger font

Examples of reasonable accommodation for education

(Experienced Reasonable Accommodation)

- Providing equivalent tasks for absence which caused by disabilities
- Accessibility support in class settings (e.g., Permission for using IC recorder, notification of important information by written documents, providing lecture notes, permission for entry-exit during class)
- Mobility support
- Using another testing room
- Permission for bringing assistive equipment in class settings
- Support for schedule management
- Using portable wheelchair ramp
- Preparation for parking space near the buildings

(Possible Reasonable Accommodation)

- Permission for disability assistant to provide amanuensis
- Realtime captioning
- Providing slides or lecture note, and those with electronic data, braille or bigger font
- Providing alternate test format instead of listening test
- Pre-tour for educational and medical institutions for practical training course work
- Permission for taking break during class and university events

2. Scholarships (Not applicable for international students)

3. Other Notes

(1) All personal information submitted to Kochi University and used for the selection of students is managed in compliance with the Act on the Protection of Personal Information. The personal information is used only for purposes of enrollment procedures, screening and admission. It is not used for any other purpose and will not be provided to third parties.

(2) Contact

Kochi Medical School Admission Office
Kohasu Oko-cho Nankoku-shi 783-8505

医科学専攻の研究内容の概要

1 医科学コース

目的

近代医学は、生物学・物理学・化学・工学などの自然科学の進歩の成果を結集して発展してきました。さらに現代、医学はゲノムサイエンス・分子生物学・発生生物学（発生・分化・再生）などの生命科学の成果をもとに目覚ましいスピードで発展し、遺伝子療法・再生医療・生殖医療などの今日の先端医療を形成しつつあります。他方、先端医療の進歩による脳死・臓器移植・体外受精・遺伝子治療と生命倫理との調和、超高齢化社会の到来による疾病構造の変化、患者のQOL＜Quality of Life（生活・生命の質）＞の重視など、医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。この急速に発展する医学・医療に的確に対応するためには、自然科学及び人間主体の人文科学と医学の調和を目指した医科学（Medical Science）の発展・充実が望まれます。このことにより、今後、ますます複雑化する医療・福祉などの社会的諸問題を包括的に捉えうる専門家の育成が可能となります。そのため、自然科学系学部（理学、農学、薬学、工学など）のみならず人文学系学部（心理学、社会学、経済学、教育学など）を含む医学部（医学科）以外の学部卒業者を、医科学へと導く教育・研究システムが必要です。

本医科学コースでは、原則として医学部（医学科）以外の出身者を対象に、医科学に関する幅広い知識を体系的、集中的に教育することにより、高度に専門化した知識と技術を身に付けた医科学分野の研究者・教育者を養成し、さらに社会的諸問題について医科学を基礎として包括的に捉えうる人材を育成しようとしています。

〔注〕

研究指導教員	所属講座等	文系	理系
中根 裕信	解剖学	○	○
村上 一郎	病理学	—	○
降幡 睦夫	病理学	—	○
山口 正洋	生理学	○	○
佐藤 隆幸	生理学	—	○
（未定）	生化学	—	—
麻生 悌二郎	遺伝子機能解析学	○	○
関 安孝	生体分子構造学	○	○
齊藤 源顕	薬理学	○	○
大畑 雅典	微生物学	○	○
（未定）	免疫学	—	—
古宮 淳一	法医学	—	○
菅沼 成文	医療学（予防医学・地域医療学分野）	○	○
安田 誠史	医療学（予防医学・地域医療学分野）	○	○
小林 道也	医療学（医療管理学分野）	○	○
（未定）	医療学（連繋医工学分野）	—	—
山上 卓士	放射線診断・IVR学	—	○

〔注〕 ○は、受け入れ可能講座等を表します。

主たる研究内容については、 www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

研究指導教員が「（未定）」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

〔注〕

研究指導教員	所属講座等	文系	理系
木村 智樹	放射線腫瘍学	—	○
河野 崇	麻酔科学・集中治療医学	—	○
内田 一茂	消化器内科学	—	○
寺田 典生	内分泌代謝・腎臓内科学	—	○
藤本 新平	内分泌代謝・腎臓内科学	○	○
(未定)	呼吸器・アレルギー内科学	—	—
小島 研介	血液内科学	—	○
北岡 裕章	老年病・循環器内科学	—	○
松下 拓也	脳神経内科学	—	○
中井 浩三	皮膚科学	—	○
(未定)	小児思春期医学	—	—
前田 長正	産科婦人科学	—	○
数井 裕光	神経精神科学	○	○
瀬尾 智	消化器外科学	—	○
三浦 友二郎	心臓血管外科学	—	○
田村 昌也	呼吸器外科学	—	○
池内 昌彦	整形外科	—	○
井上 啓史	泌尿器科学	○	○
山城 健児	眼科学	—	○
(未定)	耳鼻咽喉科学	—	—
上羽 哲也	脳神経外科学	○	○
山本 哲也	歯科口腔外科学	—	○
宮内 雅人	災害・救急医療学	—	○
山岸 由佳	臨床感染症学	—	○
浜田 幸宏	薬剤部	○	○
瀬尾 宏美	医療学（予防医学・地域医療学分野）【総合診療部】	○	○
藤田 博一	医学教育	○	○
坂本 修士 津田 雅之	総合研究センター（分子生物学）	—	○

〔注〕 ○は、受け入れ可能講座等を表します。

主たる研究内容については、 www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

研究指導教員が「（未定）」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

2 公衆衛生学コース

目的

公衆衛生学コースは、情報医科学コースと環境保健学コースを統合することで、独自の強みである医療情報のデータマイニングやICTによる医療情報システムの構築にも強い予防医学・地域医療学の専門家を養成し、ビッグデータの蓄積によりパラダイムシフトが求められている公衆衛生学分野の変革に対応できる専門人材の供給を目指しています。これに加えて、全国的に専門家が少なく、需要も高い生物統計家の養成、次世代シーケンサーの登場によって需要が急速に高まっているバイオインフォマティクスの養成を目指します。この分野について集中的に履修可能な情報医科学集中型カリキュラムを設定し、情報医科学の手法を生かしつつ、疫学、環境保健学、医療政策・医療経済などの方法論の必要な分野に適用できる専門性を習得します。

公衆衛生学コースのカリキュラムは、①疫学、②生物統計学、③医療政策学・医療管理学、④環境保健学、⑤社会医学、医倫理学、行動科学の、欧米の公衆衛生大学院での必須科目である5領域をカバーしており、修士（公衆衛生学）の学位を授与する国際基準（5つの方法論を必須科目とする履修）を満たしているのみならず、医療情報のデータマイニングやコンピュータを使った医療情報システムの構築で実績のある情報医科学コースが加わることで、ビッグデータの解析や医療管理及び医療情報のICT化にも対応できる予防医学・地域医療学の専門家を育成します。これまで本学では地域保健医療、家庭医療学、災害保健医療及び国際保健医療について重点項目として取り組んできており、この分野について集中的に履修する地域医療学集中型カリキュラムを選択可能にし、地域医療に重点を置きつつ、パブリックヘルスマインドを持つ医師を養成します。

〔注〕

研究指導教員	所属講座等	文系	理系
菅沼 成文 SUGANUMA, Narufumi	医療学（予防医学・地域医療学分野） Environmental Medicine	○	○
畠山 豊 HATAKEYAMA, Yutaka	医学情報センター Center of Medical Information Science	○※	○
安田 誠史 YASUDA, Nobufumi	医療学（予防医学・地域医療学分野） Public Health	○	○
小林 道也 KOBAYASHI, Michiya	医療学（医療管理学分野） Healthcare Management	○	○
瀬尾 宏美 SEO, Hiromi	医療学（予防医学・地域医療学分野）【総合診療部】 General Medicine	○	○
藤田 博一 FUJITA, Hirokazu	医学教育 Medical Education	○	○
阿波谷敏英 AWATANI, Toshihide	家庭医療学 Family Medicine	○	○

〔注〕 ○は、受け入れ可能講座等を表します。

○※は、文系については経済学系大学院の修士課程で計量経済学、医療経済学などを専攻し、数学的基礎を身に付けた学生に限ります。

主たる研究内容については、www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

3 公衆衛生学コース(1年コース)

目的 医療・公衆衛生領域で活躍できる高度専門医療人を育成する。

医科学専攻公衆衛生学コースは2018年度から開設し、四国で唯一の修士（公衆衛生学）の学位を授与することができる教育体制を整えております。そうした教育環境、ノウハウを活用して、2年以上の実務経験を有する医師等を対象とした公衆衛生学コース（1年コース）を2020年度に開設しました。

パブリックヘルスマインドを持った医師等の人材が必要とされている職場は、日本中、世界中に数多く存在しています。学位として欧米のMaster of Public Health (MPH) に相当する修士（公衆衛生学）は、公衆衛生全般についてのスキルを習得したことを示すことができるため、将来、国際機関、外資系の企業、海外のNGO等で働くことを希望している医師等にとって、また、医療・公衆衛生領域を専門とする医師等にとって、即戦力であることを印象づけることができます。

公衆衛生学コースのカリキュラムは、既に単独で、①疫学、②生物統計学、③医療政策学・医療管理学、④環境保健学、⑤社会医学、医倫理学、行動科学、といった欧米の公衆衛生大学院での必須科目である5つの分野をカバーしており、修士（公衆衛生学）の学位を授与する国際基準（5つの方法論を必須科目とする履修）を満たしているのみならず、医療情報のデータマイニングやコンピュータを使った医療情報システムを構築した実績により、ビッグデータの解析や医療管理及び医療情報のICT化にも対応できる予防医学・地域医療学の専門家を育成します。

また、これまで本学では地域保健医療、家庭医療学、災害保健医療及び国際保健医療について重点項目として取り組んできており、この分野について集中的に履修する地域医療学集中型カリキュラムを選択可能にし、地域医療に重点を置きつつ、パブリックヘルスマインドを持つ医師等を育成します。

研究指導教員	所属講座等
菅沼 成文 SUGANUMA, Narufumi	医療学（予防医学・地域医療学分野） Environmental Medicine
畠山 豊 HATAKEYAMA, Yutaka	医学情報センター Center of Medical Information Science
安田 誠史 YASUDA, Nobufumi	医療学（予防医学・地域医療学分野） Public Health
小林 道也 KOBAYASHI, Michiya	医療学（医療管理学分野） Healthcare Management
瀬尾 宏美 SEO, Hiromi	医療学（予防医学・地域医療学分野） 【総合診療部】 General Medicine
藤田 博一 FUJITA, Hirokazu	医学教育 Medical Education
山本 哲也 YAMAMOTO, Tetsuya	歯科口腔外科学
浜田 幸宏 HAMADA, Yukihiro	薬剤部
阿波谷 敏英 AWATANI, Toshihide	家庭医療学 Family Medicine

主たる研究内容については、www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

4 ヘルスケアイノベーションコース

目的

高齢化社会、医療過疎、大震災などの自然災害に加えて新型コロナウイルス感染が新たな脅威となり、今後の日本は「想定外の災禍と共生する高齢化地域社会」という課題と向かい合うことになります。必要となるのは、①平時から可能なかぎり健全な状態を維持すること、②次々と形を変えて到来する災禍に対応できる新たなワザやモノをそのつど創出していくことです。ヘルスケアイノベーションコースでは、「人と人の繋がり」をベースとして、医工学的な切り口でヘルスケアに関連したイノベーションを創出できる人材を育成します。一方、地域の中核としてこれらを担いつつ、高度医療も提供する大学病院では、ますます細分化された「縦割り」構造のため、本来持っている力を必ずしも十分発揮できていない現状があります。それに対し、領域横断的な視点で「壁に阻まれ埋蔵状態のリソース」を発掘し活用する役割を持つInnovative Resource Manager (IRM)を育成します。IRMは、インシデントなど医療安全の課題を解決し、縦割りによるムダを削って病院経営にプラスの効果をもたらす、埋蔵リソースから新たな価値を見いだすことに貢献します。

本コースでは、このような活躍をしたい、あるいはヘルスケア関連の企業やベンチャービジネスで能力を活かしたいという意欲のあるメディカルスタッフや工学系の若手を対象とします。まず医学、工学の基礎知識を身につけ、システムデザイン工学や人工知能、イノベーションや起業のノウハウを学び、さらに組織行動マネジメント、リスク・クライシスマネジメント、地域医療の課題、病院経営などの講義で知見を広めます。講師陣には、グローバル企業やベンチャーで起業されている方も含まれ、見方、考え方に大きな示唆を得るとともに、コース修了後の進路を考えるにあたって大いに参考になるでしょう。2年間で自分のテーマに関して研究開発を行い修了となりますが、その後医療施設、行政、起業などさまざまな分野での活躍が期待されます。

〔注〕

研究指導教員	所属講座等	文系	理系
佐藤 隆幸	生理学	—	○
菅沼 成文	医療学(予防医学・地域医療学分野)	○	○
(未定)	医療学(連繫医工学分野)	—	—
山上 卓士	放射線診断・IVR学	—	○
河野 崇	麻酔科学・集中治療医学	—	○
北岡 裕章	老年病・循環器内科学	—	○
数井 裕光	神経精神科学	○	○
池内 昌彦	整形外科科学	—	○
井上 啓史	泌尿器科学	○	○
(未定)	耳鼻咽喉科学	—	—
上羽 哲也	脳神経外科学	○	○

〔注〕○は、受け入れ可能講座等を表します。

主たる研究内容については、 www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

研究指導教員が「(未定)」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

カリキュラム

1 修了要件

医科学専攻に2年以上在学し、専攻の定める開設科目から30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文又は課題研究（公衆衛生学コースのみ）に関する審査及び試験に在学中に合格することとします。ただし、在学期間に関しては、審査のうえ、優れた業績をあげたと認められる者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

ただし、**公衆衛生学コース（1年コース）**の修了要件は、本コースに1年以上在学し、専攻の定める開設科目から30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文又は課題研究に関する審査及び試験に在学中に合格することとします。

研究指導においては、研究指導教員として本コースの指導教員の他、必要に応じて研究テーマに対応した他コースの教員も指導教員として学生の指導にあたり、個々の教員による個別指導と複数による合同指導を織り交ぜて進めます。

2 履修方法

共通科目 医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコース18単位（必修） 公衆衛生学コース（1年コース）18単位（必修）	
専門科目 ・医科学コース（医科学コース選択科目から12単位以上を履修する。） ・公衆衛生学コース（公衆衛生学コース選択科目から12単位以上を履修する。） ・公衆衛生学コース（1年コース）（公衆衛生学コース（1年コース）選択科目から12単位以上を履修する。） ・ヘルスケアイノベーションコース（コース別科目から必修科目10単位、選択科目2単位以上を履修する。）	
計	30単位以上

3 授業科目

授業科目表を参照してください（科目名の「医科学特別研究」は個別のテーマに関する論文指導ではなく研究を遂行するための一般的能力育成を目指す内容を主体とする）。

4 社会人に関する授業の特例

医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコースは、現職者の強い生涯学習ニーズへの対応や多様な学習の機会を提供するために、大学院設置基準第14条の規定を活用した「昼夜開講制」を導入して、社会人特別選抜枠を設けて社会人に配慮します。また、コース横断的に開講される共通科目（必修科目）に関しては全てオンライン（同期型もしくは非同期型）で受講することができます。コース別の専門科目（選択科目）に関しては、各科目の特殊性に応じて授業の一部または全部をオンラインで受講することが出来る場合があります。

公衆衛生学コース（1年コース）は、社会人学生に教育及び研究等のできる環境整備を図るため、夜間開講や週末の集中講義等で実施します。また、授業科目によってはオンラインで受講することが出来ます。

いずれのコースも遠隔地（海外含む）居住者でも可能な限り、無理なく修学できる環境をオンラインによって実現できるよう工夫を行っておりますが、個別の科目のオンラインでの受講可否については、指導教員予定者を通じてあらかじめ確認をお願いします。

5 学位の授与

医科学コース・ヘルスケアイノベーションコースは修士（医科学）の学位が授与されます。

公衆衛生学コース・公衆衛生学コース（1年コース）は修士（公衆衛生学）の学位が授与されます。

長期履修学生制度について

(※公衆衛生学コース（1年コース）は、適用されません。)

総合人間自然科学研究科医科学専攻（修士課程）の修業年限は2年を標準とします。

職業を有している等の事情で履修可能な授業単位数や研究指導を受ける時間が制約され、標準修業年限の2年では十分な研究時間が確保できない可能性がある場合、又は、十分な履修時間・研究時間が確保できず2年を超えてしまつては授業料が余分にかかることになり、経済的に修学が困難になる可能性がある方のために、標準修業年限の2年を超えて計画的な履修を可能とした長期履修学生制度を実施しています。

この制度により授業料は、標準修業年限の2年間で支払うべき総額を、計画的な履修を認められた期間内で均等に分割して支払うこととなります。

また、この制度は、入学後の事情の急変（就職、転勤等）にも対応し、事情によっては、長期履修期間の変更（短縮、再延長）を認められることもあります。

この制度の適用を希望する場合は、申請書類により定められた期限までに申し込んでください。

<問い合わせ先> 高知大学医学部・病院事務部 学生課大学院係（電話 088-880-2263）

授業科目及び単位数

医科学コース

科目区分	授 業 科 目 の 名 称	配当 年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実習
必修科目	医学英語	1	1		○		
	医科学特別研究(研究計画立案)	1・2	2			○	
	医科学特別研究(実験・調査)	1・2	2			○	
	医科学特別研究(ゼミナール)	1・2	2			○	
	医科学特別研究(論文作成)	1・2	2			○	
	医科学特別研究(研究発表)	1・2	2			○	
	研究者と診療の科学(臨床医学概論) *	1	2		○		
	人体の構造と発生(人体形態学) *	1	1		○		
	人体の正常の生命過程(人体機能学) *	1	1		○		
	疾患の原因・成立機序・病態と転帰 (病理病態学) *	1	1		○		
	社会・環境と医学(社会医学) *	1	1		○		
	医科学における心と倫理 *	1	1		○		
選択科目	分子から見た医学と医療	1		2	○		
	生体防御のしくみ	1		2	○		
	循環から見た医学と医療	1		2	○		
	腫瘍の発生・増殖と制御	1		2	○		
	神経の科学	1		2	○		
	誕生・発育と加齢の科学	2		2	○		
	病理・法医学見学実習	1		2			○
	臨床実習	1		2			○
	臨床感染症学	1		2	○		
	診断と治療選択	2		2	○		
	再生・機能回復医学	2		2	○		
	資源と生命	2		2	○		
	糖鎖生物学の基礎	1		2	○		
	環境保健学	1		2	○		
	環境科学測定	1		1	○		
	産業保健学Ⅰ	1		2	①	①	
	産業保健学Ⅱ	1		2	①	①	
	産業保健実践	1		1	○		
	疫学	1		2	○		
	医療政策・医療経済学 *	1		2	○		
	高齢期の健康生活と医学研究 *	2		2	○		
	生活機能の障害と医療・福祉 *	2		2	○		
	医療管理 *	1		2	○		
	海洋生物資源による免疫応答調節 *	1		2	○		
	生命環境学入門 *	1		2	○		

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。

※科目名の * は開放科目を示す。

公衆衛生学コース

科目区分	授 業 科 目 の 名 称	領域略称	修得条件	配当年次	単位数		授業形態		
					必修	選択	講義	演習	実習
必修科目	医学英語		必修	1	1		○		
	医科学特別研究(研究計画立案)		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究(実験・調査)		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究(ゼミナール)		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究(論文作成・課題研究)		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究(研究発表)		必修	1・2	2			○	
	研究者と診療の科学(臨床医学概論) *		必修	1	2		○		
	人体の構造と発生(人体形態学) *		必修	1	1		○		
	人体の正常の生命過程(人体機能学) *		必修	1	1		○		
	疾患の原因・成立機序・病態と転帰(病理病態学) *		必修	1	1		○		
	社会・環境と医学(社会医学) *			1	1		○		
	医科学における心と倫理 *			1	1		○		
選択科目	行動科学	【社会】	5科目から2単位以上	1		1	○		
	高齢期の健康生活と医学研究 *			2		2	○		
	生活機能の障害と医療・福祉 *			2		2	○		
	疫学 *	【疫学】	6科目から2単位以上	1		2	○		
	環境疫学			1		1	○		
	臨床疫学・薬剤疫学			1		1	○		
	疫学研究デザインと研究費申請			1		1	○		
	フィールド調査:理論と実践			1		2	①	①	
	メディカルデータマイニング			1		2	①	①	
	情報医科学のための数理統計学Ⅰ	【生物】	3科目から2単位以上	1		2	①	①	
	情報医科学のための数理統計学Ⅱ			1		2	①	①	
	疫学研究のための統計学			1		2	①	①	
	災害公衆衛生入門	【医療】	10科目から2単位以上	1		1	○		
	地域医療学入門			1		1	○		
	国際保健学入門			1		1	○		
	医療管理 *			1		2	○		
	医療政策・医療経済学 *			1		2	○		
	応用医療情報システム学 *			1		2	①	①	
	マネジメント入門			1		2	①	①	
	病院経営学講義			1		2	○		
	病院経営学演習			1		2		○	
	病院経営学実習			1		2			○
	環境保健学	【環境】	6科目から2単位以上	1		2	○		
	環境科学測定			1		1	○		
	産業保健学Ⅰ			1		2	①	①	
	産業保健学Ⅱ			1		2	①	①	
	産業保健実践			1		1	○		
	生命環境学入門 *			1		2	○		

表中の領域略称は、公衆衛生学における以下の5領域区分を示す。

【社会】:社会医学・医倫理学・行動科学領域 【疫学】:疫学領域 【生物】:生物統計学領域

【医療】:医療管理学・医療政策学・医療経済学領域 【環境】:環境保健学領域

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。 ※科目名の * は開放科目を示す。

公衆衛生学コース(1年コース)

科目区分	授 業 科 目 の 名 称	領域略称	修得条件	配当年次	単位数		授業形態		
					必修	選択	講義	演習	実習
必修科目	医学英語		必修	1	1		○		
	医科学特別研究(研究計画立案)		必修	1	2			○	
	医科学特別研究(実験・調査)		必修	1	2			○	
	医科学特別研究(ゼミナール)		必修	1	2			○	
	医科学特別研究(論文作成・課題研究)		必修	1	2			○	
	医科学特別研究(研究発表)		必修	1	2			○	
	医科学総論		必修	1	5		○		
	社会・環境と医学(社会医学) *			1	1		○		
	医科学における心と倫理 *			1	1		○		
選択科目	行動科学	【社会】	5科目から2単位以上	1		1	○		
	高齢期の健康生活と医学研究 *			1		2	○		
	生活機能の障害と医療・福祉 *			1		2	○		
	疫学 *	【疫学】	6科目から2単位以上	1		2	○		
	環境疫学			1		1	○		
	臨床疫学・薬剤疫学			1		1	○		
	疫学研究デザインと研究費申請			1		1	○		
	フィールド調査:理論と実践			1		2	①	①	
	メディカルデータマイニング			1		2	①	①	
	情報医学のための数理統計学Ⅰ	【生物】	3科目から2単位以上	1		2	①	①	
	情報医学のための数理統計学Ⅱ			1		2	①	①	
	疫学研究のための統計学			1		2	①	①	
	災害公衆衛生入門	【医療】	10科目から2単位以上	1		1	○		
	地域医療学入門			1		1	○		
	国際保健学入門			1		1	○		
	医療管理*			1		2	○		
	医療政策・医療経済学*			1		2	○		
	応用医療情報システム学 *			1		2	①	①	
	マネジメント入門			1		2	①	①	
	病院経営学講義			1		2	○		
	病院経営学演習			1		2		○	
	病院経営学実習			1		2			○
	環境保健学	【環境】	6科目から2単位以上	1		2	○		
	環境科学測定			1		1	○		
	産業保健学Ⅰ			1		2	①	①	
	産業保健学Ⅱ			1		2	①	①	
	産業保健実践			1		1	○		
	生命環境学入門 *			1		2	○		

表中の領域略称は、公衆衛生学における以下の5領域区分を示す。

【社会】:社会医学・医倫理学・行動科学領域 【疫学】:疫学領域 【生物】:生物統計学領域

【医療】:医療管理学・医療政策学・医療経済学領域 【環境】:環境保健学領域

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。 ※科目名の * は開放科目を示す。

ヘルスケアイノベーションコース

科目 区分	授 業 科 目 の 名 称	修得 条件	配当 年次	単位数		授業形態		
				必修	選択	講 義	演 習	実 習
専攻共通科目	医科学基礎科目	医学英語	必修	1	1		○	
		研究者と診療の科学(臨床医学概論) *	必修	1	2		○	
		人体の構造と発生(人体形態学) *	必修	1	1		○	
		人体の正常の生命過程(人体機能学) *	必修	1	1		○	
		疾患の原因・成立機序・病態と転帰(病理病態学) *	必修	1	1		○	
		社会・環境と医学(社会医学) *	必修	1	1		○	
		医科学における心と倫理 *	必修	1	1		○	
	特別研究科目	医科学特別研究(研究計画立案)	必修	1・2	2			○
		医科学特別研究(実験・調査)	必修	1・2	2			○
		医科学特別研究(ゼミナール)	必修	1・2	2			○
		医科学特別研究(論文作成・課題研究)	必修	1・2	2			○
		医科学特別研究(研究発表)	必修	1・2	2			○
コース別科目	基礎	医用工学	必修	1	1		○	
		医療統計学・データマイニング	必修	1	1		○	○
	医工学科目	医用システムデザイン工学	必修	1	1		○	
		イノベーション・レギュラトリーサイエンス	必修	1	1		○	
		医用画像工学・人工知能	必修	1	1		○	○
		アントレプレナーシップ	必修	1	1		○	○
		組織行動マネジメント・リーダーシップ	必修	1	1			○
	応用関連科目	ロジカルシンキング・デザインシンキング	必修	1	1		○	○
		リスクマネジメント・クライシスマネジメント	必修	1	1		○	
		地域社会レジリエンス・地域医療エンパワメント	必修	1	1		○	
		医療政策・医療経済学 *	5科目から	1		2	○	
		フィールド調査:理論と実践		1		2	○	○
		病院経営学講義		1		2	○	
		病院経営学演習		1		2		○
		高齢期の健康生活と医学研究 *		2		2	○	

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。 ※科目名の * は開放科目を示す。

講義等の内容

【医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコース 共通科目】

必修科目		
授業科目名		講義等の内容
医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコース 共通科目	医学英語	医科学に必要な基本的で実用的な英語運用力を修得します。
	医科学特別研究(研究計画立案)	個別のテーマに関する論文指導ではなく研究を遂行するための一般的能力育成を目指す内容を主体とする。
	医科学特別研究(実験・調査)	
	医科学特別研究(ゼミナール)	
	医科学特別研究(論文作成)	
	医科学特別研究(研究発表)	
	*研究者と診療の科学(臨床医学概論)	医学を学んでいない学習者が、医学の学問的体系の礎となる臨床を理解し、医学研究に対するモチベーションを高めるために、臓器別に、比較的頻度の高い代表疾患と、その診断に至る過程の概要を知り、治療戦略を学びます。
	*人体の構造と発生(人体形態学)	人体を構成する細胞の形態及び細胞からなる上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織について学習し、人体の基本的構造について理解を深めます。
	*人体の正常の生命過程(人体機能学)	循環、呼吸といった生命維持に不可欠な機能がどのように巧みに調節され、全体として恒常性が保たれているのかについて学びます。個体はこのような基本的な生命活動を保ちつつ、一方では外界の状況をいかに的確に認識し、それに応じて目的にかなった運動を形成し、制御しているのかについて理解します。さらに、このような学習を通して機能統合の考え方や系統的な科学的思考方法を習得します。
	*疾患の原因・成立機序・病態と転帰(病理形態学)	炎症、腫瘍、循環障害や物質代謝障害による疾患及び進行性病変などについて、その原因、成立機序、病態や転帰を病理形態学を基盤として学びます。また、ヒトゲノムプロジェクトによって得られた網羅的遺伝子情報と医療との関わりについて学習します。
共通科目	*社会・環境と医学(社会医学)	人間の健康に影響を持つさまざまな環境要因と健康障害防止のための社会的方策、また、健康問題に関連する法律上の課題とその対応について、事例を通して学習します。併せて、環境要因による健康影響の解明や効果的な方策検討のための研究方法について、概要を学びます。
	*医科学における心と倫理	生命の尊厳を尊重した医科学研究を行うために、心と倫理を検討する方法を学びます。患者の心理、心情を理解し、さまざまな観点から、医療倫理、生命倫理を尊重し実践できる態度を身に付けます。

【公衆衛生学コース(1年コース)】

必修科目		
授業科目名		講義等の内容
公衆衛生学コース(1年コース)	医学英語	医科学に必要な基本的で実用的な英語運用力を修得します。
	医科学特別研究(研究計画立案)	個別のテーマに関する論文指導ではなく研究を遂行するための一般的能力育成を目指す内容を主体とする。
	医科学特別研究(実験・調査)	
	医科学特別研究(ゼミナール)	
	医科学特別研究(論文作成)	
	医科学特別研究(研究発表)	
	医科学総論	医学研究を実施するために公衆衛生学における知識及びスキルを習得します。
	*社会・環境と医学(社会医学)	人間の健康に影響を持つさまざまな環境要因と健康障害防止のための社会的方策、また、健康問題に関連する法律上の課題とその対応について、事例を通して学習します。併せて、環境要因による健康影響の解明や効果的な方策検討のための研究方法について、概要を学びます。
	*医科学における心と倫理	生命の尊厳を尊重した医科学研究を行うために、心と倫理を検討する方法を学びます。患者の心理、心情を理解し、さまざまな観点から、医療倫理、生命倫理を尊重し実践できる態度を身に付けます。

*は、開放科目(他専攻学生の履修を認める科目として予め指定した科目)を示す。

【医科学コース 専門科目】

		選択科目
授業科目名		講義等の内容
医科学コース専門科目	分子から見た医学と医療	タンパク質、核酸など主要な生体構成機能分子、遺伝子発現調節やシグナル伝達の基本的事項、生体構成機能分子や遺伝子発現の異常と病気との関連、遺伝学や遺伝子工学の基本的事項について学習します。
	生体防御のしくみ	生体には、外から侵入する異物の他、体内に生じる、変調を来した細胞を見つけて除くしくみが備わっている。後者には、古くなった細胞やウイルス感染細胞、腫瘍細胞などが含まれる。この科目では、ウイルスや細菌の感染様式や、それらに対する防御反応について学び、レポートを提出します。 また、免疫学の基礎を、週に1回計12回程度集まって勉強します。概要の講義を受けた後、細胞性免疫を中心に教科書や英文レビュー誌を輪読し、ディスカッションを交わして理解を深めます。後半には、がん免疫に関する原著論文を読み、研究の方法や材料、未知の問題へのアプローチのしかたを勉強します。
	循環から見た医学と医療	基礎循環器学と臨床循環器病学のつながりを学ぶことを通して、医学と医療の関係について考え、臨床研究のあり方を考察できるよう学習します。
	腫瘍の発生・増殖と制御	腫瘍、特に悪性腫瘍は、現在もヒト死因の第1位であり、種類も多岐に亘るが、それらの病態を詳細に知ることは非常に重要である。医学の目覚ましい進歩により殆どの腫瘍において遺伝子異常の存在が示唆されており、ヒトの染色体に組み込まれている3～5万とされる遺伝子についての機能解析や発現異常の研究が進行中である。現在までに100種類以上の癌遺伝子、10数種類の癌抑制遺伝子が発見されている。従って、腫瘍は遺伝子病であると定義できる。これらのことを踏まえ、良性・悪性を含む腫瘍の理解の為には、腫瘍の原因と関連づけた発生、増殖、進展、浸潤、転移の各過程についての知見のみならず、更に診断・治療・予後に関する知識を教授します。
	神経の科学	脳神経系は複雑であるが精緻に組み上げられた構造を持ち、多様であるが合目的な機能を発揮しています。脳神経系の構造と機能を具体例に基づいて理解し、構造と機能が相互に強く結びついて脳神経系が成り立っていることを学修します。
	誕生・発育と加齢の科学	疾患は個体全体の病態として出現するにもかかわらず、近年の医学は専門細分化し、一連の生命現象の流れの中で全体像を把握することが困難になりつつある。そこで、個体の発生、発育、老化の現象を細胞、臓器、疾患、個体、社会の各レベルからのアプローチの方法を学びます。
	病理・法医学見学実習	病理及び法医解剖の見学実習により、ヒトの生死の尊厳さと人体の精緻な構造を理解させ、病死や異状死の際の変化、医療や生活史及び法との関連を学習します。
	臨床実習	医科学の進歩が実際の臨床現場でどのように貢献しているかを教授し、医療の担い手である医師と医療を受ける患者さんとが相互に信頼関係を保ちつつ診療が行われているのかを体験して、医療のあるべき姿を学習します。
	臨床感染症学	感染症の診断および治療、感染制御に必要とされる感染症診断学、感染症治療学、薬物動態学、薬力学、臨床微生物学、臨床感染免疫学、感染制御学の基礎知識および新しい知見について学習します。
	診断と治療選択	医師とクライアントとの関係は、父子型の治療選択が行われる時代から成人対成人型の情報共有に基づく治療選択が行われる時代へ変化している。新しい時代の医師患者関係を理解した研究者になるために、診断・治療の方法論と、医療決断のために必要なリスク、加味されるべき心理的・社会的要因を評価する方法を修得します。
	再生・機能回復医学	再生医療、臓器移植、人工臓器による機能再建術の開発の歴史と現状について学びます。
	資源と生命	天然資源、特に生薬・海洋生物由来物質などの生物資源の利用分野、特に医学・医療への応用とその有用性、天然資源から創出した新規医用材料についての研究方法を学習させる。さらに、臨床の場において汎用されている薬物とその作用機序を学びます。
	糖鎖生物学の基礎	糖鎖は最も普遍的な翻訳後修飾であり、疾患や再生のバイオマーカーとして重要であるので、糖鎖生物学の基礎知識を系統的に修得します。

選択科目	
授業科目名	講義等の内容
環境保健学	<p>環境保健学は環境因子による健康影響を研究する学問です。産業革命以降発生した公害などの問題は先進国の国民に影響を与えてきました。環境汚染の多くは制御され、現在はより高感度の測定法によって低濃度の環境影響を調べる時代を迎えています。遺伝環境連関についてもこの環境保健学で取り扱います。</p> <p>Environmental Health seeks the health effect of interaction between human and environmental factors. Industrial revolution caused severe problem called public nuisance and affected a lot of people in developed countries. Though severe pollutions had been controlled, adverse effects of environmental factors are now investigated with highly developed techniques. Interaction between genetics and environmental factors is also a topic in this field.</p>
環境科学測定	<p>産業環境医学における環境因子の測定方法について議論します。作業環境測定、生物学的モニタリング、粉じん、ガス、金属等、有機溶剤の化学物質の測定、及び、音、振動、電離放射線、光など物理的要因の測定などを含みます。Measurement techniques used in Occupational and environmental medicine will be discussed:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Work Environment Measurement 2 Biological Monitoring 3 Dust 4 Gases 5 Metal and Occupational diseases, 6 Organic Solvent, 7 Noise, Vibration and ionizing radiation, ambient light
産業保健学Ⅰ	<p>産業中毒学の基本事項について学びます。職場における産業中毒の要因とともに、臓器別に見た産業中毒の影響を考えます。</p> <p>Basic topics about occupational toxicology, will be covered in this class. Toxic effect of various agents found in workplaces will be reviewed systematically throughout the organs.</p>
産業保健学Ⅱ	<p>産業現場における健康影響の制御にはリスクアセスメントが必須です。職場における中毒学的なリスクアセスメントとリスクコントロールの手法について学びます。毒性学的な実験的研究についても学びます。</p> <p>Risk assessment is essential to control health hazard in workplaces and general environment. Methods for Toxicological assessment and risk control using those data will be also discussed. Students will participate to the toxicologic experiments using various methods.</p>
産業保健実践	<p>産業保健の実践について、実務の内容にそって学びます。</p> <p>Lecture covers practice of occupational medicine</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Introduction of Occupational and Environmental Health, 2 Industrial Hygiene and Technological Intervention, 3 Medical Care for workers, 4 Occupational Lung Disease, 5 Metal and Occupational diseases, 6 Organic Solvent, 7 Occupational Cancer, 8 Noise, Vibration and ionizing radiation, 9 Mental Health Problems
*疫学	<p>医療のロジックと言われる疫学について、基本的な概念と技能を健康情報の活用における情報収集、統計処理、解析とその活用方法、さらに情報処理システムや活用の現状について、専門的知識及び技能を修得します。また、高知大学医学部の医療情報処理システムによる情報処理の現状と活用例を併せて学習します。</p>

選択科目		
授業科目名		講義等の内容
医科学コース専門科目	*医療政策・医療経済学	近年、根拠に基づく健康政策(Evidence Based health-Policy)の必要性が認識されるようになりました。このEBHPは、国、自治体レベルだけでなく、さまざまな社会・集団における健康問題の対応、さらには医療関連分野の諸施設の運営にも活用されています。さらに、政策の運用にあたっては、経済的な効率や医療倫理への配慮も求められています。本科目では、政策決定で必要となるニーズ評価・対策の計画・効果の評価、医療の法体系などについて、基本的知識と技能を、事例を通して学習します。事例には、国内での地域保健医療や海外の医療政策に関する近年の課題を取り上げ、その背景と動向についても考察します。
	*高齢期の健康生活と医学研究	高齢期の精神障害、認知症の原因となる様々な病態を症候学的、神経画像学的に理解します。また治療法、社会生活における障害の容態を理解する。その上でアンメッドメディカルニーズを理解します。このアンメッドメディカルニーズを克服するための研究についてディスカッションするが、その際には、過去に発表された英文論文を参考にします。
	*生活機能の障害と医療・福祉	精神障害、発達障害の様々な病態を症候学的、神経生理学的に理解します。また、社会生活における障害の容態を理解し、その上で、生活機能の障害に対する治療や支援の方法、医療制度や福祉制度を理解します。この生活機能の障害を対象とする研究についてディスカッションするが、その際には、過去に発表された英文論文を参考にします。
	*医療管理	医療関連施設、特に病院における、合理的・科学的な運用管理能力を身につけるため、関係法規、医療経済、医療資源の組織と機能をについて学習します。 また、病院内の運営管理、さらに院内感染を含めた安全管理を行う能力を身につけるため、附属病院における実際の活動を通じて学びます。
	*海洋生物資源による免疫応答調節	免疫応答の調節を司る細胞や分子について解説し、その相互作用に影響を与える海洋生物資源、特に多糖体の免疫応答の調節について概説します。
	*生命環境学入門	環境因子による人間を含む生命への影響は、遺伝的要因と比較しても、大きいことが知られています。環境因子による健康問題は環境保健として予防医学の重要な一分野として取り扱われています。環境因子の制御に関わる様々な専門家による双方向的講義を通して生命と環境との関係を学びます。

*は、開放科目(他専攻学生の履修を認める科目として予め指定した科目)を示す。

【公衆衛生学コース・公衆衛生学コース(1年コース) 専門科目】

選択科目		
授業科目名		講義等の内容
公衆衛生学コース専門科目	行動科学	人間の行動を科学的に理解し、健康の維持、増進のための視点を学習します。
	*高齢期の健康生活と医学研究	高齢期の精神障害、認知症の原因となる様々な病態を症候学的、神経画像学的に理解します。また治療法、社会生活における障害の容態を理解する。その上でアンメッドメディカルニーズを理解します。このアンメッドメディカルニーズを克服するための研究についてディスカッションするが、その際には、過去に発表された英文論文を参考にします。
	*生活機能の障害と医療・福祉	精神障害、発達障害の様々な病態を症候学的、神経生理学的に理解します。また、社会生活における障害の容態を理解し、その上で、生活機能の障害に対する治療や支援の方法、医療制度や福祉制度を理解します。この生活機能の障害を対象とする研究についてディスカッションするが、その際には、過去に発表された英文論文を参考にします。
	*疫学	医療のロジックと言われる疫学について、基本的な概念と技能を健康情報の活用における情報収集、統計処理、解析とその活用方法、さらに情報処理システムや活用の現状について、専門的知識及び技能を修得します。また、高知大学医学部の医療情報処理システムによる情報処理の現状と活用例を併せて学習します。
	環境疫学	環境疫学の実例として、日本で行われている環境省の子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）を取り上げます。この調査は10万人規模の出生コホートで環境因子が子どもにどのような健康影響を与えるかをテーマに、先天異常、精神神経発達、免疫アレルギー、内分泌、妊孕性について検討を行う予定です。
	臨床疫学・薬剤疫学	Clinical Epidemiology is a tool for assessment of new diagnostic measures or effect of new treatment in clinical researches. Understanding such a tool is one of essential skills for researchers involved in clinical researches. This class will provide basic topics of fundamentals of clinical epidemiology, including designing clinical trials and Medical ethics.
	疫学研究デザインと研究費申請	人間集団を対象とした研究の研究費申請の際に、疫学研究の構造を知っておくことは重要です。研究費申請についての具体的な方法も学びます。 Understanding the structure of epidemiologic studies is important when applying for a Grant.
	フィールド調査：理論と実践	地域においての問題解決には現状把握が重要であり、疫学調査を含めた地域診断はそのツールとして地域の現状把握に有効である。フィールド調査における基本的な理論と共に、質問紙作成、実施などの具体的な調査理論を学び、地域において現状把握、課題解決の提言に繋げる。具体的なフィールド調査の企画立案を行い、調査実施時の注意点を学ぶ。
	メディカルデータマイニング	様々なデータ解析手法を大量のデータに網羅的に適用することで知識を取り出す技術であるデータマイニングによって、膨大なデータの蓄積から通常のデータの扱い方からは想像が及びにくい発見的な知識獲得が可能であると期待されている。この手法を学び、医学・医療データに適用する能力を身につけます。
	情報医科学のための数理統計学Ⅰ	事象と確率、確率変数と確率分布、仮説検定、信頼区間と検出力、分散分析、多重比較検定、ノンパラメトリクス統計、回帰分析、統計解析前のデータ処理などのテーマにつき数理統計学的な基礎を学び、R言語を用いた演習によって、実際の課題を解決する能力を身につけます。
	情報医科学のための数理統計学Ⅱ	最尤推定法、ロジスティック回帰、生存曲線、COXの比例ハザード分析、Bayes統計、計算機統計学、などのテーマにつき学び、実際の課題を解決する能力を身につけるための演習を行います。演習はR言語を用いて行います。

選択科目		
授業科目名		講義等の内容
公衆衛生学 コース専門科目	疫学研究のための統計学	疫学を用いる医学研究の論文作成時に必要となる統計解析を、Stata(ないしEZR)を用いて学ぶ。理論よりも実際の研究の流れに従って、データの要約、群間比較、多変量解析について習得します。加えて、解析結果を表にまとめるノウハウと結果の解釈の仕方についても学習します。これらを通じて、統計学者と共通言語を使って対話できる能力を身に付けることを目指します。
	災害公衆衛生入門	災害時の対応は緊急援助的なDMATによる医学的対応は当然必要とされるが、被災地住民は様々な健康状態にあり、それらに対応する際には、災害公衆衛生(Disaster Public Health)という考え方が必要となる。東日本大地震を経験した地域において、災害医療の効果的な公衆衛生組織の活用が十分になされなかったとの反省から近年、必要性が認識されるようになった。災害時における医療の展開には、公衆衛生で使われてきた集団に対するアプローチの殆どが当然必要であり、行政職員も不眠不休の活動を行ったにもかかわらず、十分な評価は得られなかった。今回は、阪神大震災以降のDMATなどの訓練、準備が整っていた災害救急医療との違いが現れてしまったのは、自治体自体が被災したということに加えて、災害公衆衛生としての整理や準備が十分なされていなかったことの反映であろう。防災、減災という取り組みとともに、南海地震に対しての備えとして、災害医療を総合的に支える災害公衆衛生という観点での再構築と業種、専門分野を超えたネットワーク作りが必要とされている。
	地域医療学入門	各学生に地域医療の課題をテーマとして与え、講義と並行しながら、必要な情報をまとめ、その解決策を検討する自己学習をおこないます。週2時間程度の自己学習を要する。最終的には、全学生がそれぞれのテーマについてプレゼンテーションを行うこととします。
	国際保健学入門	International Health is public health without the border. Actually public health in Japan itself is also among the International health. Basic framework of international health will be reviewed, which is similar to public health. Experts in this field will share their experience in emerging countries and developing countries in special lectures.
	*医療管理	医療関連施設、特に病院における、合理的・科学的な運用管理能力を身につけるため、関係法規、医療経済、医療資源の組織と機能をについて学習します。また、病院内の運営管理、さらに院内感染を含めた安全管理を行う能力を身につけるため、附属病院における実際の活動を通じて学びます。
	*医療政策・医療経済学	近年、根拠に基づく健康政策(Evidence Based health-Policy)の必要性が認識されるようになった。このEBHPは、国、自治体レベルだけでなく、さまざまな社会・集団における健康問題の対応、さらには医療関連分野の諸施設の運営にも活用されている。さらに、政策の運用にあたっては、経済的な効率や医療倫理への配慮も求められている。本科目では、政策決定で必要となるニーズ評価・対策の計画・効果の評価、医療の法体系などについて、基本的知識と技能を、事例を通して学習します。事例には、国内での地域保健医療や海外の医療政策に関する近年の課題を取り上げ、その背景と動向についても考察します。
	*応用医療情報システム学	現在の病院業務を支える病院情報システムや複数の医療機関をコンピュータネットワークで連携する遠隔医療連携システム、それらのシステムの心臓部ともいえるデータベースシステム、それらのシステムのデータを横断的に利活用するためのデータウェアハウスについて理解するとともに、演習を通じてそれらの実際についても理解します。
	マネジメント入門	経営学に必要な科目のうち、財務会計、戦略、マーケティング、組織行動を中心に講義を行います。MBA教育で使われる教科書を活用し、組織運営のための基礎力をつけます。 病院経営学講義/演習の授業に必要な経営学の基礎知識の習得を目標とします。 ※履修には一定の条件があります。
	病院経営学講義	病院経営に必要な経営戦略、経営組織、財務・管理会計、リスクマネジメント等の基礎知識を獲得します。 ※履修には一定の条件があります。

選択科目		
授業科目名		講義等の内容
公衆衛生学コース専門科目	病院経営学演習	医療経営を、ケース（事例）を通じて議論しながら学ぶ「ケースディスカッション」授業を実施します。具体的な経営事例を通じて絶対解ではなく関係者の納得解を創出するプロセスを経験します。レクチャーのような座学ではなく、答えのない問いに対する「考える力」が要求され、受講生の積極的な参加が要求されます。授業内容は受講生のレベルに応じて変更することがあります。 ※履修には一定の条件があります。
	病院経営学実習	現場（自施設）での実践実習を通して、課題を解決する能力を養います。 ※履修には一定の条件があります。
	環境保健学	Environmental Health seeks the health effect of interaction between human and environmental factors. Industrial revolution caused severe problem called public nuisance and affected a lot of people in developed countries. As Japan went through rapid industrial development in shorter period than in Western countries, Japan had experience variety of environmental pollutions. Though severe pollutions had been controlled, adverse effects of environmental factors are now investigated with highly developed techniques. Interaction between genetics and environmental factors is also a topic in this field.
	環境科学測定	Occupational and Environmental Health is science and practice concerning prevention, recognition and management of workers' disease caused by occupational and environmental hazard.
	産業保健学Ⅰ	産業中毒学の基本事項について学びます。職場における産業中毒の要因とともに、臓器別に見た産業中毒の影響を考えます。 Basic topics about occupational toxicology, will be covered in this class. Toxic effect of various agents found in workplaces will be reviewed systematically throughout the organs.
	産業保健学Ⅱ	産業現場における健康影響の制御にはリスクアセスメントが必須です。職場における中毒学的なリスクアセスメントとリスクコントロールの手法について学びます。毒性学的な実験的研究についても学びます。 Risk assessment is essential to control health hazard in workplaces and general environment. Methods for Toxicological assessment and risk control using those data will be also discussed. Students will participate to the toxicologic experiments using various methods.
	産業保健実践	Occupational Health Practice covers hazard identification and risk control in workplaces. Main focus of the practice is prevention, recognition and management of workers' disease caused by occupational and environmental hazard.
	*生命環境学入門	環境因子による人間を含む生命への影響は、遺伝的要因と比較しても、大きいことが知られており、環境因子による健康問題を特に環境医学・環境保健として公衆衛生学の重要な一分野として取り組んできている。環境因子の制御には、様々な専門家が異なるフィールドで取り組んでおり、一般環境中の環境物質のコントロールがなされなければ、一般住民の健康に影響をもたらす。また、一般環境中の環境化学物質は、結局、人間の産業活動によってもたらされたものであることが殆どであり、環境医学・環境保健の特殊形態である産業保健に大きく関わっている。

*は、開放科目（他専攻学生の履修を認める科目として予め指定した科目）を示す。

【ヘルスケアイノベーションコース専門科目】

授業科目名		講義等の内容
ヘルスケアイノベーションコース科目	医用工学	イノベーションで用いる可能性が高い工学的な考え方や手法の基礎を、工学が専門の先生方から学び、それぞれがヘルスケアとどう関連しているかについて、セッションで紐づけします。なかでも、電気工学、電子工学、機械工学は、医療と特に関わりが深い領域です。それに続き、臨床現場で用いる医療機器を題材として、その役割、pitfallについて理解を深めます。後者は、インシデントにも関連します。
	医療統計学・データマイニング	統計学的手法は、どの領域でも有効性の検討などに用いられる基礎で、それを必要に応じて使えるようになります。さまざまな情報がデジタルで天文学的な量として保存されるこれからの時代、その中から貴重な情報を得るために必要なデータマイニング、ビッグデータ解析について学びます。また、統計学的手法を使う深層学習、そしてその人工知能への応用について、どのようなことに使うことができ、逆に限界とは何かを理解しておくことが大切です。
	医用システムデザイン工学	医療技術の進歩とともに、その形態も従来とは大きく変化し情報は電子カルテに収める形となっている。病院機能にとって神経系にあたる情報ネットワークは、病院機能の効率化、向上のみならずトラブルの火種にもなる。特に、地域医療との関連、災害時の対処などでは、医療技術部の果たすべき役割も大きくなり、それを総括する立場としては知っておかなければならない。これらを得るのがこの科目の役割である。
	イノベーション・レギュラトリーサイエンス	コース名称にもある「イノベーション」を起こすための能力を基礎から学んでいきます。インスピレーションを引き出すための思考法、コツとしての「アート」の重要性にも触れ、イノベーションを取り巻く国の政策、世界で展開されているデジタル化や人工知能の医療への活用の事例を学びます。一方、創出したものを役立てる際に必要となる規制や知的財産についての正しい知識を学びます。
	医用画像工学・人工知能	近年、コンピュータの性能向上により格段に進歩しつつある医用画像工学の基礎知識を学び、合わせて画像診断に用いる機器、画像情報から得られるラジオミックス、テクスチャ解析を学習するとともに、画像解析、診断に導入されつつある人工知能の基礎を習得し、深層学習の演習を行う。
	アントレプレナーシップ	ベンチャー企業を立ち上げる(起業)ことを目指している人にとっては、貴重な科目となるだろう。実際に起業された講師やその支援をしておられる方を講師に招き、一方でマーケティングの視点から起業を見つめることも学ぶ。
	組織行動マネジメント・リーダーシップ	組織のヘルスケアについて考え、イノベーションを創出していく上で、組織マネジメントやリーダーシップについての理解は不可欠である。現在どのように組織が管理されているか、またリーダーは何を考え、どのように物事を決定していくのか、といったことについて、また人を動かすためにはどのような心理的なアクションや考え方が必要となるか、といった点について学ぶ。
	ロジカルシンキング・ラテラルシンキング	課題解決に貢献できるイノベーションを加速する「思考法」に焦点を当てる。医と工で異なる考え方(帰納法と演繹法)を論理的思考で繋ぐ人材の育成を目的とする。ロジカルシンキングが考えたり伝えたりするプロセスで論理的な明快さを担保するのに対し、デザインシンキングは人を中心として熱意を持ってイノベーションを実現しようとする問題解決プロセスである。これらの思考法を実習を通して習得する。
	リスクマネジメント・クライシスマネジメント	組織、社会のいずれも想定外のトラブルに遭遇することが稀ではなくなっている。今後、これらのある程度想定内に含め、万が一それらが起こったときでも被害を最小限にすることが、組織や社会のヘルスケアにとって大切となる。その意味で、この科目ではさまざまな視点でリスク・クライシスマネジメントに携わっている講師の先生方から講義をいただく。
	地域社会レジリエンス・地域医療エンパワメント	地域の過疎、地域医療の課題など、高知県では他県に先んじてさまざまな問題に直面している。このような課題の実状をまず知ることによって、そこに役立つ方策などを創出していくための工夫、技術活用などについて理解を含めるとともに、これまでの事例から将来に向けての自分たちの役割を考えていく。

授業科目名		講義等の内容
ヘルスケアイノベーションコース科目	医療政策・医療経済学	近年、根拠に基づく健康政策(Evidence Based health-Policy)の必要性が認識されるようになった。このEBHPは、国、自治体レベルだけでなく、さまざまな社会・集団における健康問題の対応、さらには医療関連分野の諸施設の運営にも活用されている。さらに、政策の運用にあたっては、経済的な効率や医療倫理への配慮も求められている。本科目では、政策決定で必要となるニーズ評価・対策の計画・効果の評価、医療の法体系などについて、基本的知識と技能を、事例を通して学習します。事例には、国内での地域保健医療や海外の医療政策に関する近年の課題を取り上げ、その背景と動向についても考察します。
	フィールド調査:理論と実践	地域においての問題解決には現状把握が重要であり、疫学調査を含めた地域診断はそのツールとして地域の現状把握に有効である。フィールド調査における基本的な理論と共に、質問紙作成、実施などの具体的な調査理論を学び、地域において現状把握、課題解決の提言に繋げる。具体的なフィールド調査の企画立案を行い、調査実施時の注意点を学ぶ。
	病院経営学講義	病院経営に必要な経営戦略、経営組織、財務・管理会計、リスクマネジメント等の基礎知識を獲得します。 ※履修には一定の条件があります。
	病院経営学演習	医療経営を、ケース(事例)を通じて議論しながら学ぶ「ケースディスカッション」授業を実施します。具体的な経営事例を通じて絶対解ではなく関係者の納得解を創出するプロセスを経験します。レクチャーのような座学ではなく、答えのない問いに対する「考える力」が要求され、受講生の積極的な参加が要求されます。授業内容は受講生のレベルに応じて変更することがあります。 ※履修には一定の条件があります。
	* 高齢期の健康生活と医学研究	高齢期の精神障害、認知症の原因となる様々な病態を症候学的、神経画像学的に理解します。また治療法、社会生活における障害の容態を理解する。その上でアンメッドメディカルニーズを理解します。このアンメッドメディカルニーズを克服するための研究についてディスカッションするが、その際には、過去に発表された英文論文を参考にします。

*は、開放科目（他専攻学生の履修を認める科目として予め指定した科目）を示す。